

# CMIC REPORT 2011

シミックレポート 2011

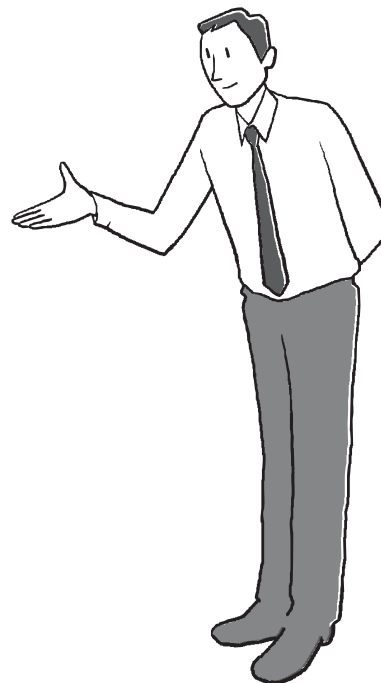
シミック株式会社 第27期 ビジネスレポート

2010.10.1-2011.9.30

シミックグループの事業と  
2011年9月期の成果について  
ご報告いたします。

## CONTENTS

- 01 CEO中村和男メッセージ
- 02 シミックグループについて
- 03 当期業績のご報告
- 05 事業内容とビジネスモデル
- 07 成長戦略
- 09 連結財務諸表
- 11 事業別概況
- 13 2012年9月期の見通し／お知らせ
- 14 株式の状況／会社概要
- 巻末 株主メモ  
／healthクリックの健康コラム



CMIC

Pharmaceutical Value Creator



## 中村和男メッセージ

代表取締役会長兼社長／CEO

## 人々の、健康で喜びに満ちた 幸せな生活を支えるために

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
また、本年3月に発生いたしました東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心より祈念いたします。

2011年9月期においては、製薬企業の付加価値向上に貢献する当社グループ独自の事業モデル「PVC(Pharmaceutical Value Creator)」を一層促進いたしました。

臨床試験関連事業においては事業拡大のための人員増強やサービス拡充を進めました。また、アウトソーシングニーズの拡大を背景として製造受託サービスやMR派遣サービスなどの事業も大きく伸長いたしました。その結果、全事業で増収となり過去最高の売上・営業利益を達成することができました。

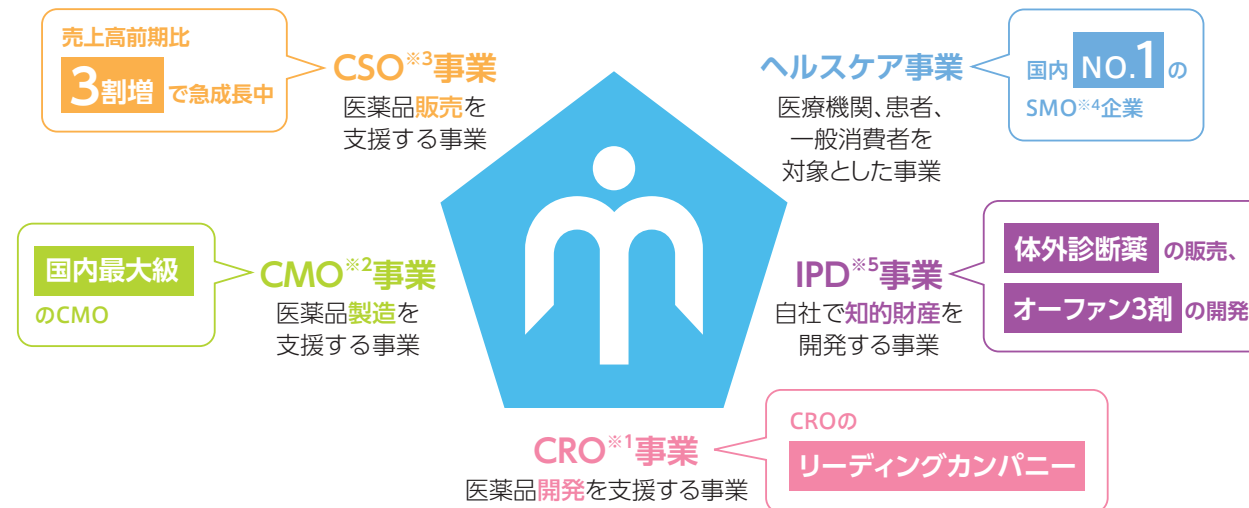
併せて業績の状況及び連結配当性向30%を目標とする当社株主還元方針を考慮し、期末配当金を増配いたしました。これにより、当期の連結配当性向は30%となりました。

当社は今後もPVCモデルのさらなる強化を図り、事業の収益性と生産性の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# CMICについてご紹介します。

## 製薬企業の開発、製造、販売などを総合的に支援する会社です。

シミックグループは医薬品の開発を支援するCROの日本におけるパイオニアとして出発しました。  
現在では製造や販売なども含めた製薬企業の総合支援の他、患者さんや一般消費者などを対象とした事業、自社での知的財産開発などを含めた5つの事業領域で成長を続けています。



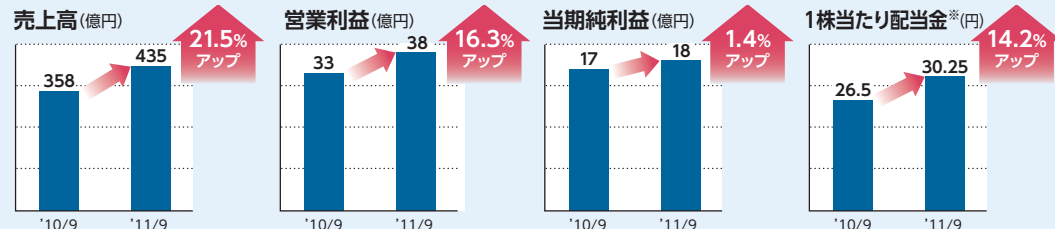
コーポレートシンボルのペンタゴン(正五角形)は、シミックグループの5つの事業領域と、5つの事業が織り成すシナジーをシンボリックに表したものです。

※1 CROは「Contract Research Organization」の略です。製薬企業から「Research(開発)」業務を受託しています。  
 ※2 CMOは「Contract Manufacturing Organization」の略です。製薬企業から「Manufacturing(製造)」業務を受託しています。  
 ※3 CSOは「Contract Sales Organization」の略です。製薬企業から「Sales(販売)」業務を受託しています。  
 ※4 SMOは「Site Management Organization」の略です。特定の医療機関(治験実施施設=Site)と契約し、その施設の治験業務を支援します。  
 ※5 IPDは、Intellectual Property(知的財産) Development(開発)を示します。

# 全事業で増収を達成し、 10期連続 増収増益となりました。

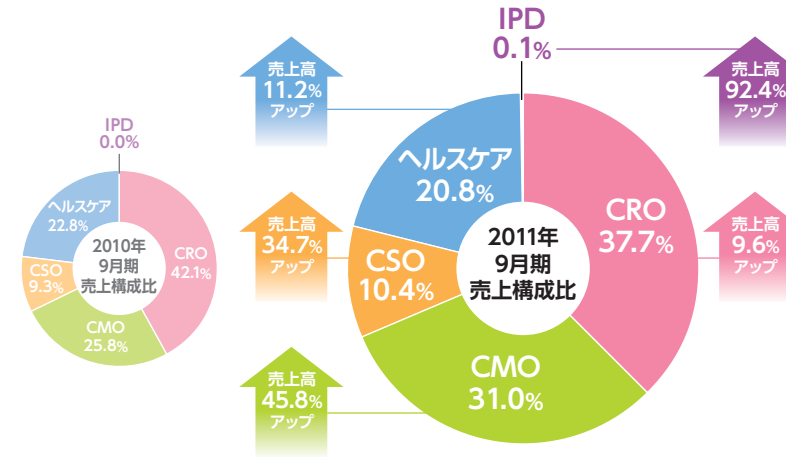


医薬品の開発を支援するCRO、SMO市場は成熟期に入り、業界の再編が進んでいます。一方、医薬品の製造・営業を支援するCMO・CSO市場はいずれも拡大を続けており、業界団体として2010年11月には日本CMO協会、2011年6月には日本CSO協会が発足しました。このような環境下において、シミックグループはCRO事業、SMO業務では着実な成長を続け、CMO事業、CSO事業では大幅に事業規模を拡大しました。これにより、当期の売上高は43,555百万円（前期比21.5%増）、営業利益は3,849百万円（同16.3%増）となり、売上高・営業利益は10期連続で増加しました。



\*2011年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。1株当たり配当金は当該株式分割に伴う影響を加味し適及修正を行った場合の配当状況を記載しております。

## 各事業における実績と取り組みをご報告します。



当期においては、M&Aを活用したCRO事業およびSMO業務の競争力強化、アジア展開推進のための中国CROとの合併会社設立、医薬品の製剤処方設計から製造まで一貫したサービス提供のための体制構築などに取り組みました。

業績につきましては、前期下半期よりグループ会社となったシミックCMO(株)が今期より通期で寄与したことや、CSO事業において大型案件を受注したことなどにより、売上高が大幅に伸びました。

この結果、各事業の売上構成比についてはCMO事業が前期25.8%から31.0%へ、CSO事業が9.3%から10.4%にそれぞれ拡大しました。従来主力としていた臨床試験関連事業に加え、これらの事業が大きく伸びており、5つの事業領域で構成される当社グループの事業モデルが順調に進展しています。

### 2011年9月期トピックス 2010年

10月  
(株)ティエフビーと体外診断用医薬品「レナプロ® L-FABPテスト」の販売で業務提携  
▶2011年1月より国内販売開始

12月  
バンコクにアセアンオフィスを設置

### 2011年

1月  
(株)メディカル・ヴィタをグループ会社化  
▶2011年4月にサイトサポート・インスティテュート(株)と合併

2月  
(株)応用医学研究所を完全子会社化

4月  
株式の分割・単元株式数の変更を実施

5月  
シミックメディカルリサーチ(株)、シミックメディカルサポート(株)、(株)シミックバイオリサーチセンターをグループ会社化  
▶シミックメディカルサポート(株)は2011年9月にサイトサポート・インスティテュート(株)と合併

6月  
第一三共(株)と治験薬製造施設譲受に関する基本合意

8月  
(株)シェルプロよりSMO事業を譲受

体外診断用医薬品「レナプロ® L-FABPテスト」が保険適用

9月  
中国において現地CROとの合併会社を設立

# 競争が激化する製薬企業の 戦略的パートナーとして。



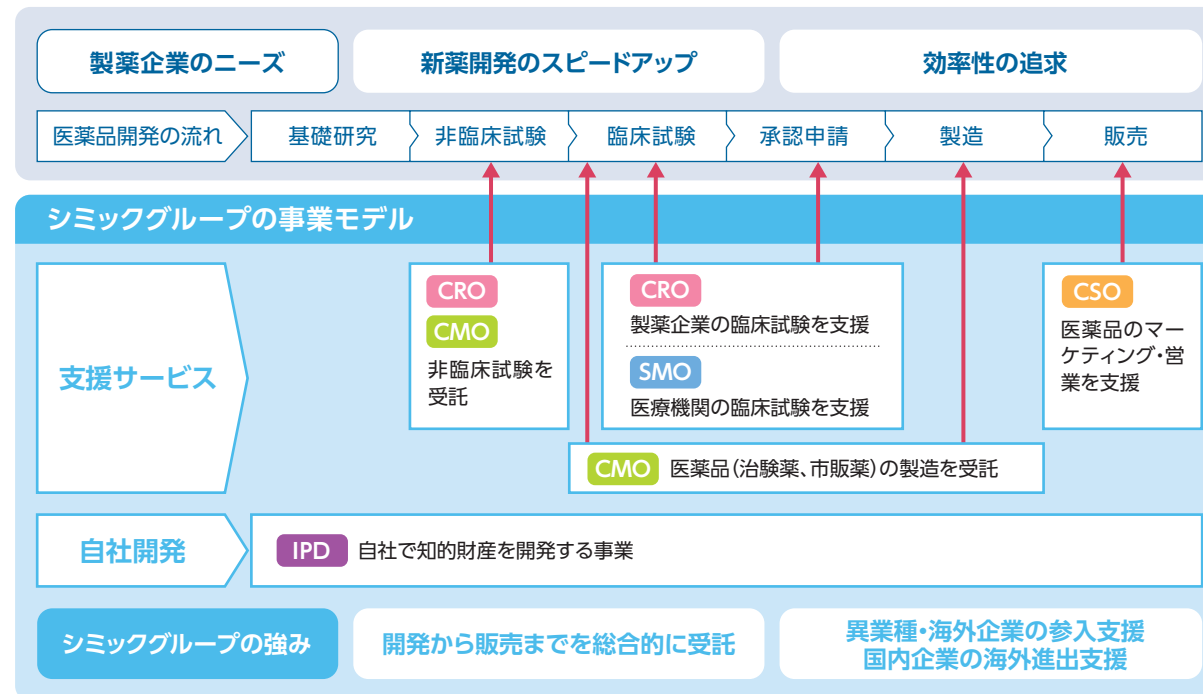
医薬品業界では主力商品の特許切れ（2010年問題）や医療費抑制政策などにより新たな収益源の獲得を迫られる一方で新薬開発の難易度は上昇しており、競争環境は厳しさを増しています。製薬企業は自社の経営資源だけでなく、M&Aやアウトソーシングなどにより社外のリソースを積極的に活用することで経営の効率化を推進しています。

## 用語紹介

### 2010年問題

2010年前後に年間売上高が1000億円を超えるような大型の医薬品の特許が切れ、安価な後発品が発売されることにより先発品の売上が大幅に落ち込むとされている問題。製薬企業は大型薬に頼る従来のビジネスモデルの転換を迫られています。

## 製薬企業の医薬品開発から販売までを総合的に支援できる 独自のモデルで事業を拡大しています。



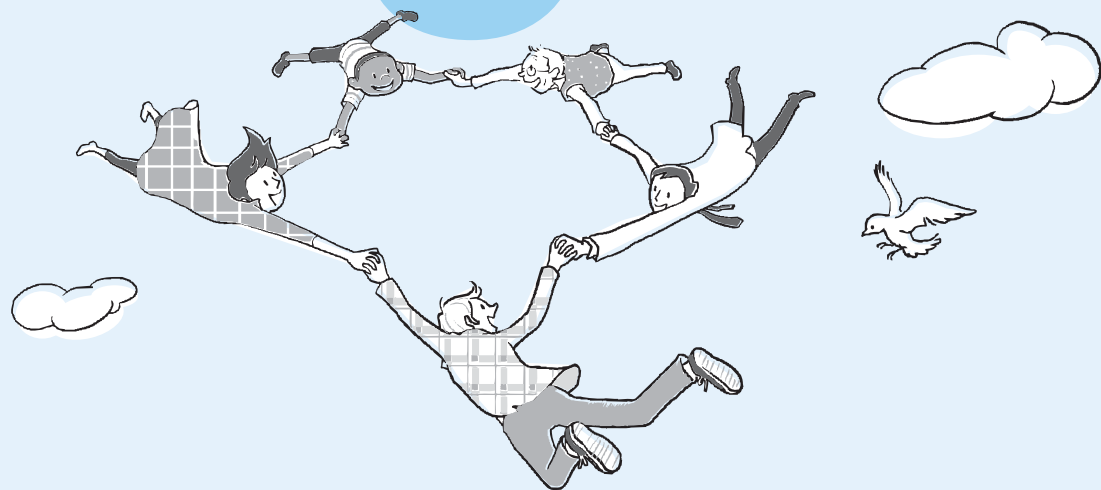
医薬品業界の競争が激しさを増す中で、シミックグループは独自の事業モデル「PVC (Pharmaceutical Value Creator)」を展開し、製薬企業の付加価値向上に貢献しています。

シミックグループは、製薬企業の持つ開発・製造・営業・マーケティングのどの機能もカバーできる体制を整えており、各事業が連携してシナジーを発揮することで新薬開発のスピードアップ、高品質かつ効率の良い支援

の実施といった製薬企業のニーズに応えています。また、異業種企業の医薬品業界参入や海外製薬企業の日本進出、日本企業の海外進出に対してもシミックグループの持つ機能とノウハウを活用した幅広い支援が可能です。

このようなトータルサポート体制により、シミックグループは製薬企業の経営戦略実現においてさまざまな面でソリューションを提供できるパートナー企業として事業を拡大しています。

# 新たな価値を創出し、 人々のいのちと健康に貢献します。



シミックグループは製薬企業の支援事業に加え、診断薬や患者ニーズの高い希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）などの開発を行っています。同時に、こうした薬の開発を通じて得たノウハウ、知的財産を活用していくことでPVCモデルの推進とさらなる成長を図ってまいります。私たちはより多くの安全で有効な医薬品をより早く患者さんの元に届けることで社会に貢献していきます。

## 用語紹介

**希少疾病用医薬品**  
(オーファンドラッグ)

患者数が少なく\*、治療法が確立されていない重篤な病気のための医薬品。患者数が少ないため収益化が難しいなどの理由により開発が進まない医薬品も多く、厚生労働省が開発の要請・支援を行っています。

\*日本では対象患者数5万人未満

# 事業の拡大と新ビジネスの創生を通じ、 より良い薬をより早く患者さんの元へお届けします。

医療の質の向上への貢献  
～PVCモデルの推進～

方針

## 製薬企業の総合支援

当社の総合支援体制を一層強化し、製薬企業がより早く、より多くの医薬品を開発・提供できるためのサポートを行います。

施策

## サービス拡充 2011年5月

安全性薬理試験・薬効薬理試験の受託が可能になり、サービスが拡充しました。



## 治験薬製造の強化 2012年3月(予定)

治験薬製造施設の取得により、治験薬製造から商業生産までの一括受託や開発業務との連携を推進します。



国際展開

方針

## 国際共同治験増加への対応

CRO事業ではアジア地域の事業拡大や製薬企業の海外進出支援、CMO事業では日韓米の各社が連携したグローバルマネジメントの強化を進めます。

施策

## 中国に合併会社を設立 2011年9月

今後急速な市場成長が見込まれる中国において、現地の大手CROと合併会社GCP CMIC ClinPlusを設立し、臨床試験の実施体制を強化しました。これにより既存子会社を含めた日本・中国・韓国・台湾の四極体制を今まで以上に強固なものとし、アジアにおける国際共同治験のサポートを推進していきます。



知的財産開発の促進

方針

## 新たな収益モデルの構築

診断薬やオーファンドラッグなどの開発を通じ、知的財産の蓄積と新たな収益モデルの構築を目指します。

施策

## 体外診断用医薬品の販売促進

自社開発の体外診断用医薬品「レナプロ® L-FABPテスト」の保険適用を受け、販売促進体制を構築します。



## 流通販売体制の構築 2012年6月(予定)

医薬品卸大手の(株)メディアパルホールディングスと合併会社を設立し、現在開発しているオーファンドラッグの流通販売体制を整えます。

連結貸借対照表(要旨)(単位:千円)

科目	前期 2010年9月30日現在	当期 2011年9月30日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
流動資産	18,930,718	22,444,156	3,513,438
固定資産	14,335,940	16,937,140	2,601,200
有形固定資産	10,674,003	11,067,421	393,418
無形固定資産	1,323,902	2,745,356	1,421,454
投資その他の資産	2,338,033	3,124,363	786,330
<b>資産合計</b>	<b>33,266,659</b>	<b>39,381,297</b>	<b>6,114,638</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	9,437,682	12,839,354	3,401,672
固定負債	8,189,735	9,633,208	1,443,473
<b>負債合計</b>	<b>17,627,418</b>	<b>22,472,563</b>	<b>4,845,145</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	15,187,041	17,164,593	1,977,552
その他の包括利益累計額	△264,353	△307,565	△43,212
少数株主持分	716,552	51,706	△664,846
<b>純資産合計</b>	<b>15,639,241</b>	<b>16,908,734</b>	<b>1,269,493</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>33,266,659</b>	<b>39,381,297</b>	<b>6,114,638</b>

ポイント1 資産合計

主に現預金の増加(+26億円)およびM&Aに伴うのれんの増加(+11億円)によります。

ポイント2 負債合計

主に短期借入金の増加(+21億円)によります。

ポイント3 純資産合計

主に利益剰余金の増加(+12億円)によります。

連結損益計算書(要旨)(単位:千円)

科目	前期 2009年10月1日から 2010年9月30日まで	当期 2010年10月1日から 2011年9月30日まで	増減額
<b>売上高</b>	<b>35,861,532</b>	<b>43,555,034</b>	<b>7,693,502</b>
売上原価	26,277,734	32,961,467	6,683,733
売上総利益	9,583,797	10,593,566	1,009,769
販売費及び一般管理費	6,272,754	6,744,051	471,297
<b>営業利益</b>	<b>3,311,043</b>	<b>3,849,514</b>	<b>538,471</b>
営業外収益	118,160	152,759	34,599
営業外費用	214,252	290,201	75,949
<b>経常利益</b>	<b>3,214,951</b>	<b>3,712,072</b>	<b>497,121</b>
特別利益	298,670	43,920	△254,750
特別損失	177,929	325,465	147,536
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>3,335,692</b>	<b>3,430,527</b>	<b>94,835</b>
法人税、住民税及び事業税	1,844,443	2,195,421	350,978
法人税等調整額	△365,974	△592,838	△226,864
少数株主利益	70,894	16,195	△54,699
<b>当期純利益</b>	<b>1,786,329</b>	<b>1,811,749</b>	<b>25,420</b>

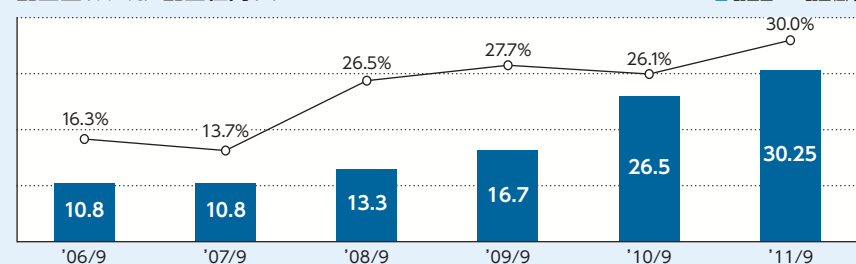
ポイント4 売上高

シミックCMO(株)の通期寄与の他、各事業が伸長し21.5%の増収となりました。

ポイント5 当期純利益

当期からの資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額(△1.6億円)を吸収し、増益を確保しました。

配当金(単位:円)・配当性向(%)

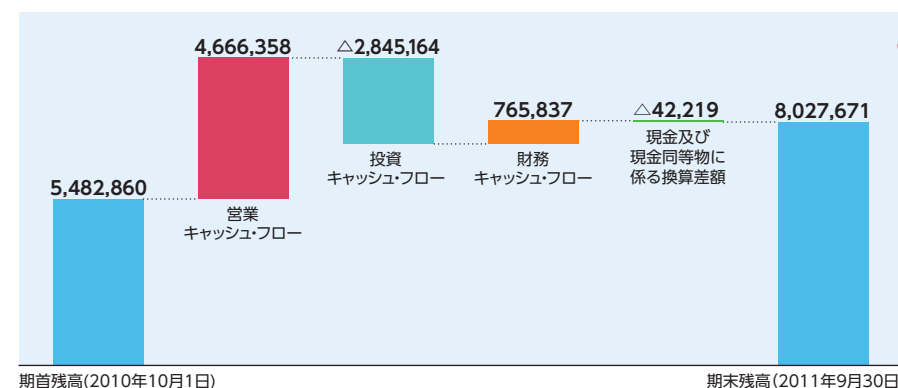


株主還元について

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策の一つとして位置付け、収益力向上や企業基盤の強化のための内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を実施することを基本方針としています。当期は期末配当金を17円とし、年間配当金は前期比3.75円増の30.25円となりました。これにより目標としていた連結配当性向30%を達成し、1株当たり配当金は4期連続の増配となりました。

※2011年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。上記のグラフおよび文中では当該株式分割に伴う影響を加味し適及修正を行った場合の配当状況を記載しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位:千円)



ポイント6 CMO事業における設備投資などにより投資C/F

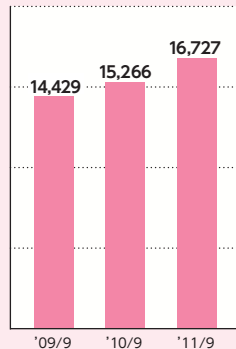
は28億円の支出となる一方、純利益や減価償却費などにより営業C/Fは46億円の収入となり、現金及び現金同等物は25億円増加しました。

### CRO (医薬品開発支援) 事業

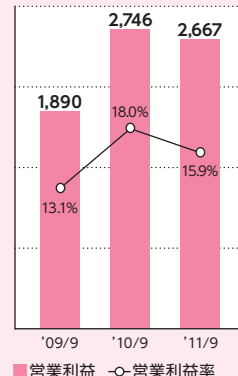
主に製薬企業に対し医薬品開発(臨床試験など)を支援する事業

- CRO事業・非臨床業務を行う2社をグループ会社化事業拡大のための人員増強、サービス拡充を実施
- モニタリング業務、データマネジメント業務がいずれも順調に推移し、売上高は前期比9.6%増
- M&Aに伴う拠点集約などの一時的な費用やのれん償却費の発生により、営業利益は減少

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



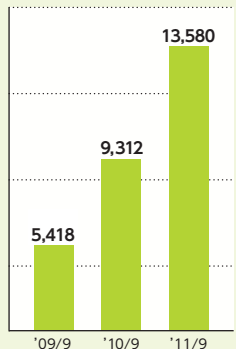
今後の方針 臨床試験の効率化やサービス拡充、国際展開による競争優位性の確保

### CMO (医薬品製造支援) 事業

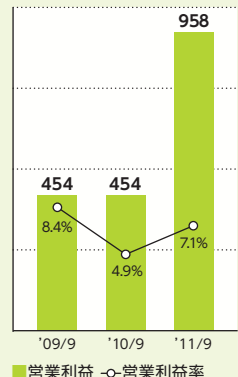
主に製薬企業から医薬品などの分析・製造業務を受託する事業

- 前期下半期よりグループ会社となったシミックCMO(株)の業績が通期で寄与
- シミックCMO富山(株)において新規受託案件を獲得
- (株)応用医学研究所の完全子会社化を実施
- 売上高は前期比45.8%増、営業利益は同110.9%増と大幅な増収増益を達成

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



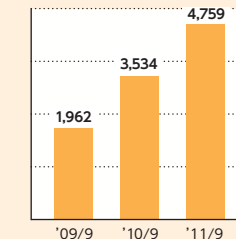
今後の方針 製剤開発技術力を特徴とするCMOとしての基盤強化

### CSO (医薬品営業支援) 事業

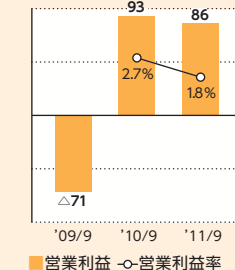
主に医薬品の営業・マーケティングを支援する事業

- MR (医薬情報担当者) 派遣業務の事業拡大に向け、採用・教育を強化し先行投資を実施
- MR派遣業務の市場拡大、大型案件の受託獲得などにより売上高は前期比34.7%増と大幅に伸長
- メディカルコミュニケーション業務(販促資材企画・制作など)は利益が減少

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



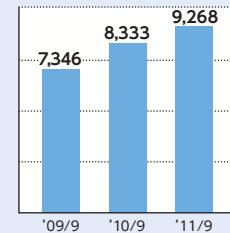
今後の方針 積極的な採用と営業力の強化により、シェアを拡大

### ヘルスケア事業

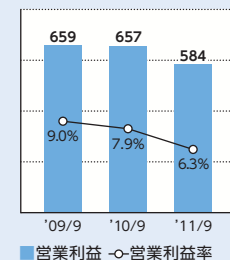
医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進を支援する事業

- M&Aや事業の譲受など、事業拡大のための人員増強及び医療機関ネットワークの拡充を実施
- SMO業務、医薬・医療業界向け人材派遣業務で売上高が伸長
- SMO業務の原価率上昇、臨床研究プロジェクトの赤字などにより営業利益は減少

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



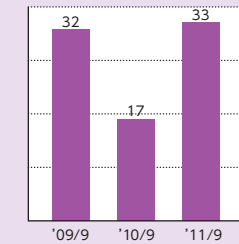
今後の方針 大型案件の受託などによる市場シェア拡大

### IPD (知的財産開発) 事業

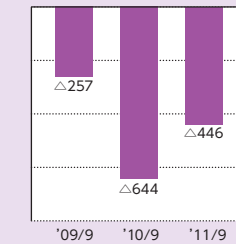
知的財産開発に係る業務

- 体外診断用医薬品「レナプロ® L-FABPテスト」が2011年1月より外販開始、同年8月より保険適用
- 希少疾病用医薬品(オーファンドラッグ)3剤の開発が進行中
- 研究開発費などにより引き続き営業損失を計上

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



今後の方針 オーファンドラッグの承認に向けた開発推進と診断薬事業の収益化

## 2012年9月期の見通し

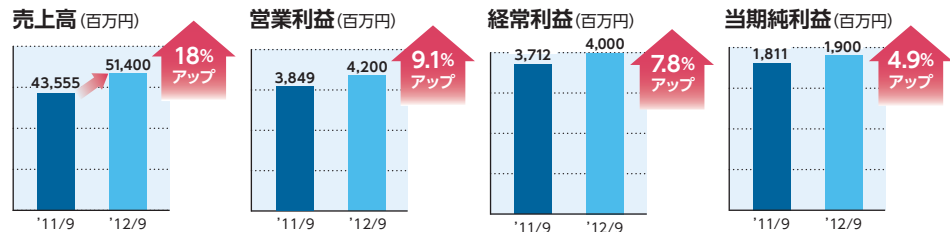
医薬品業界は引き続き厳しい事業環境が続いており、製薬企業は新興国での事業拡大や新薬開発力の強化を図っています。そのため、新薬開発スピードの向上や経営の効率化を目的としたアウトソーシングニーズは一層拡大すると考えています。

シミックグループは各事業の基盤や個々のサービスの強化を図るとともに、事業間シナジーを追求することで事業の収益性と生産性を高めていきます。

2012年9月期は各事業で2桁の増収を見込んでおり、連結売上高は514億円を計画しています。

※CMO事業の見通しには製造委託契約の一部変更に伴う原材料費相当の売上36億円が含まれます。

当レポートに記述されている業績予想並びに将来予測等は、入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があります。



### セグメント別売上高見通し(百万円)

	'11/9	'12/9	
	売上高(実績)	売上高(見通し)	
CRO事業	16,727	18,500	10.6%アップ
CMO事業	13,580	17,300	27.4%アップ
CSO事業	4,759	6,000	26.1%アップ
ヘルスケア事業	9,268	10,400	12.2%アップ
IPD事業	33	70	106.4%アップ
内部取引消去	△814	△870	
合計	43,555	51,400	18.0%アップ

## 株式の状況

2011年9月30日現在

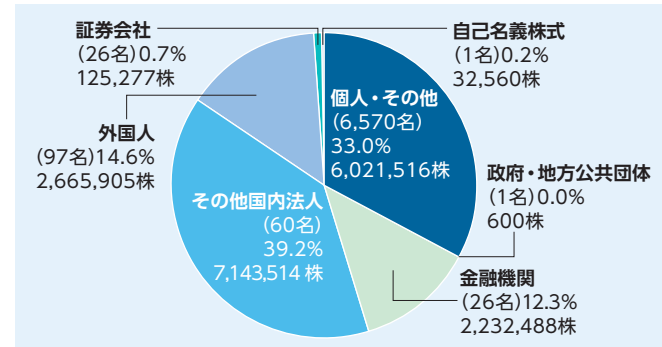
発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式総数	18,221,860株
株主数	6,781名

### 大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社アルテミス	6,368,200	35.01
中村和男	1,909,720	10.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,031,800	5.67
TAIYO PEARL FUND, L.P.	934,500	5.13
株式会社キースジャパン	719,440	3.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	385,600	2.12
BBH/BLACKROCK GLOBAL SMALLCAP FUND, INC.	365,200	2.00
シミック従業員持株会	346,920	1.90
TAIYO BLUE PARTNERS, L.P.	288,100	1.58
中村圭子	148,600	0.81

(注) 1. 持株比率は、小数点以下3位を切り捨てております。  
2. 持株比率は発行済の普通株式の総数から自己株式(32,560株)を除いて計算しております。  
3. 当社は2011年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき20株の割合で株式分割を実施しております。

### 所有者別の構成比率(株式数比率)



## 会社概要

2011年9月30日現在

商号	シミック株式会社
設立	1985年
資本金	3,087,750千円
本社所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル
事業所	名古屋支社 大阪支社 九州支社
従業員数	4,135名(連結)
グループ会社(連結子会社)	シミックメディカルリサーチ(株) (株)シミックバイオリサーチセンター CMIC Korea Co.,Ltd. CMIC(Beijing) Co.,Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC,PTE.LTD. シミックCMO(株) シミックCMO富山(株) (株)応用医学研究所 CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation (株)シミックエムピーエスエス エムディエス(株) サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック (株)シミックBS
持分法適用会社	GCP CMIC ClinPlus

役員(2011年12月15日現在)

代表取締役会長兼社長	中村和男
代表取締役	中村宣雄 市川邦英 中村圭子
取締役	清水政男 佐野 極 望月 渉 松原久雄
取締役(社外)	原 護 高橋俊雄
常勤監査役	高本哲義 安田利正
監査役(社外)	酒井 繁 種房俊二

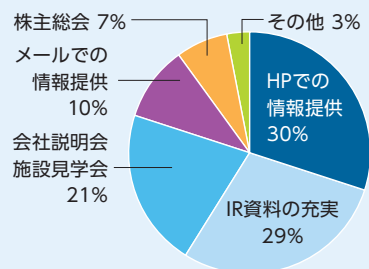
当社は2012年1月4日付で持株会社に移行するとともに「シミックホールディングス株式会社」に商号を変更し、上場を維持します。

## お知らせ

### 株主アンケートのご報告

2011年9月期中間シミックレポートにてご案内いたしましたアンケート調査において、多くの株主の皆様より貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。今後も株主の皆様のご期待に沿えるよう企業努力を続けてまいります。

### 当社のIR活動に希望すること



### IR情報について

最新のIR情報は、当社のホームページをご覧ください。



<http://www.cmic.co.jp/>

「IR情報」ページで最新のプレスリリース、決算資料などが確認できます。

「IRメール配信サービス」にご登録いただくと最新のリリース情報がメールで届きます。

シミック 検索



## 株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
剰余金の配当基準日	9月30日(中間配当を行う場合は3月31日)
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
郵便物送付先・ お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告( <a href="http://www.cmic.co.jp">http://www.cmic.co.jp</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による 公告をすることができない場合には、日本経済新聞に 掲載して行います。

当社は2011年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき20株の割合で株式分割を実施するとともに、単元株式数を10株から100株に変更しております。

## シミック株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル  
Tel 03-5745-7070(代) Fax 03-5745-7077  
<http://www.cmic.co.jp/>

**UD FONT**  
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

## healthクリックの健康コラム

### 一番風呂をマイルドにする入浴剤の効果

一番風呂が良くないと言われる理由はお湯の熱伝導がよすぎて皮膚への刺激が強いから。また体液とお湯の浸透圧が異なるため、体の表面から人体に含まれる塩分やカルシウムなどの成分が染み出し、水分が体に染み込んでいきます。それを防ぐ方法が入浴剤や柚子湯など薬湯の利用。家庭でも簡単にできる薬湯をご紹介します。

#### 柚子などの柑橘類



血行を良くする作用があるので、冷え性などの対策や肌のトラブル解消に!

#### お酢



肌の酸酸性度(PH)が適度に調整され、かさつきなどを抑えてくれる。カリウム豊富なリンゴ酢がお勧め!

この続きはhealthクリックのサイトで **薬湯** を検索

▶「知っているのと得をする～お風呂を使った健康法(3)」をご覧ください

## healthクリック

「healthクリック」は、健康一般情報および疾病に関する情報を提供する日本最大級の健康ポータルサイトです。ぜひご利用ください。



**病院・薬・サプリメントの情報満載!**

詳細はこちらへ <http://www.health.ne.jp>